

令和4年度道徳だより

てとてをつないで

朝霞市立朝霞第七小学校
道徳部
令和4年7月20日(水)

いよいよ明日から夏休み

本日で1学期が終了しました。明日から待ちに待った夏休みになり、家族で旅行へ行ったり、帰省したりすることもあるかと思います。ぜひ、長い夏休みを使って、「特別な教科道徳」についてもお子さんと一緒に考えていただければと思います。

4月号のおたよりでもお知らせいたしましたが、道徳の教科書以外にも埼玉県では家庭用「彩の国の道徳」という埼玉県独自の道徳教材があります。(埼玉県教育委員会のHPから家庭用の電子版をダウンロードすることができます。)家庭用「彩の国の道徳」では、①学校の授業で学ぶ読み物教材、②埼玉県の偉人にまつわる教材、③子育てに関するコラムや資料を掲載しています。ご家庭でも、掲載されている資料をもとに話題にいただき、お子様と一緒に感じたことを話し合ってみてください。



学校での道徳はどのように学習しているの？

道徳の学習は、発達段階に応じて自分自身の価値感を広げたり、深めたりする時間です。そのために、答えが一つでないものについて、多様な価値観を持つ者同士で考え、対話を通して、道徳的な問題に出会ったときに、自分で考えて行動ができるように低学年・中学年・高学年の発達段階に応じた授業を行っています。

今回は、低学年での道徳の学習の一部を紹介したいと思います。低学年では、「役割演技」を活用して登場人物の気持ちを実感し、主人公や登場人物の気持ちや葛藤を様々な視点から深く考えることができるような授業も取り入れて行っています。



2年生の友情・信頼の教材では、「友達と仲良くするために大切なことは何かを考え、友達と仲良くし、助け合おうとする心情」について考えを深めるために役割演技を取り入れて行いました。低学年の子どもたちの多くは、相手の気持ちや立場を十分に考えずに振る舞ってしまうことで、ささいなことからけんかになってしまうことが少なくありません。

そこで、本教材では役割演技を通して、友達のことを考え仲良く助け合っていくことのよさについて、自分の考えを深めることができました。